

2016年度 変額年金保険(特別勘定)決算のお知らせ

**Grand
Design**

グランド デザイン

変額個人年金保険I型(年金受取総額および死亡保険金額保証特則付)



- 当資料は、特別勘定の運用状況等を報告するための資料であり、生命保険契約の募集または特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の勧誘を目的とするものではありません。
- この商品は、特別勘定の運用実績に基づいて死亡保険金額、積立金額、解約返戻金額等が日々変動(増減)する個人変額年金保険(生命保険)です。
- 当資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

お電話でのお問い合わせ先

●金融機関を通じてご加入のお客さま

ジブ ロック

ジブラルタ生命コールセンター **0120-59-2269** **通話料無料**

受付時間 平日 8:30~20:00 / 土曜 9:00~17:00 (日・祝・12/31~1/3を除く)

2017年7月作成



Gibraltar
ジブラルタ生命

ご契約者のみなさまへ

弊社保険につきまして、日頃よりご愛顧、ご継続をいただき誠にありがとうございます。
さて、2016年度の決算を終えましたので、特別勘定についての決算概要をご報告申し上げます。

1. 市場動向(2016年4月1日～2017年3月31日)

【市場動向】

2016年度の国内債券市場(新発10年国債利回り)は、当初、英国国民投票によるEU離脱決定で世界経済の不透明感が台頭し一時-0.3%近くまで低下しました。その後、日銀が7月会合で9月に金融政策の総括的検証を行うと発表し金利は上昇に転じました。9月会合では長期金利を概ねゼロ%程度で推移させるイールドカーブ・コントロールを導入したため、その後はレンジでの動きとなり、年度末は0.065%で取引を終えました。

国内株式市場は、当初、日米金融政策の動向や英国国民投票によるEU離脱決定でリスクオフとなり、一時15,000円を下回りました。米大統領選でトランプ氏が勝利すると新政権の政策期待や米国利上げ期待からドル高を背景に堅調に推移したものの、期末にかけて伸び悩み、日経平均株価は18,909.26円で取引を終えました。

外国債券市場は、当初、米10年物国債利回りは不調な米雇用統計や英国国民投票を巡る不透明感から低下しました。7月以降は良好な米経済指標などを背景に上昇に転じ、米大統領選後は新政権の政策期待や米利上げ期待から一段と金利水準は高まりましたが、期末にかけて期待剥落で伸び悩み、2.3%台で取引を終えました。

外国株式市場は、期初、原油価格が相場の下支えとなるも、英国国民投票を契機に6月末にかけて弱含みました。その後は米国景気への安心感で上昇するも米国利上げ期待の高まりで上値が重い展開となりました。米大統領選後は新政権の政策期待で強含みましたが、期末にかけて政策実現性への懸念から伸び悩みました。

為替市場については、ドル円相場は米利上げ観測が高まったものの、英国国民投票に向けてリスクオフの相場展開となり円高が進みました。その後は良好な米経済指標や米新政権の政策期待からドル高が進みましたが、期待剥落で円高圧力がかかり、期末のドル円相場は1ドル112円台となりました。ユーロ円相場も米新政権への期待でユーロ高となる場面もありましたが、欧州政治リスクや米新政権の政策懸念を受け、年度でみると円高ユーロ安が進行しました。

【主な市場の動向】

	日経平均株価(円)	10年国債利回り(日本)	NYダウ平均株価(US\$)	10年国債利回り(米国)	ドル円相場	ユーロ円相場
2016年3月末	16758.67	-0.050%	17685.09	1.77%	112.68	127.70
2017年3月末	18909.26	0.065%	20663.22	2.39%	112.19	119.79
変化率	12.8%	0.12%上昇	16.8%	0.62%上昇	-0.4%	-6.2%

2. 保有契約高

区分	件数	金額(万円)
変額個人年金保険I型(年金受取総額および死亡保険金額保証特則付)	8	1,800

3. ユニットバリューと運用利回りの推移

	ユニットバリュー	運用利回り
2016年3月末	125.5065	
2016年4月末	125.8610	+0.28%
2016年5月末	128.6912	+2.54%
2016年6月末	124.9544	-0.44%
2016年7月末	127.4710	+1.57%
2016年8月末	127.6730	+1.73%
2016年9月末	127.9962	+1.98%
2016年10月末	130.7951	+4.21%
2016年11月末	134.3457	+7.04%
2016年12月末	137.1762	+9.30%
2017年1月末	135.6858	+8.11%
2017年2月末	136.9482	+9.12%
2017年3月末	135.9374	+8.31%

(注) ユニットバリューとは、会社としての運用開始時を100として持分1口あたりの価値を意味します。
運用利回りはユニットバリューの2016年3月末からの伸び率を記載しております。

4. 資産の内訳

(2017年3月末)		(単位:千円、%)	
区分	金額	構成比	
現預金・コールローン	249	1.1	
その他の証券	22,930	98.9	
その他	12	0.1	
合計	23,192	100.0	

5. 運用収支状況(2016年4月1日～2017年3月31日)

(単位:千円)	
項目	金額
利息配当金等収入	—
有価証券評価益	6,792
その他の収益	—
有価証券評価損	5,001
その他の費用	—
収支差計	1,791

6. 特別勘定の運用状況（特別勘定名）国内バランス50

■運用方針

当特別勘定資産の運用は、主として「プルデンシャル私募国内株式・債券バランスファンド（適格機関投資家向け）」（運用会社：プルデンシャル・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社）に投資することにより行います。

■運用内容

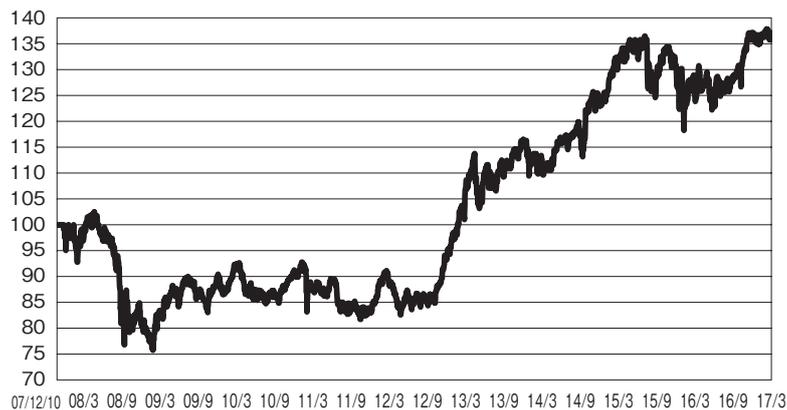
特別勘定への資金の流出入に合わせ、上記投資信託の組入れ比率を高水準に保つ運用を行いました。

当年度末の投資信託の組入れ比率は98.9%です。

当年度末のユニットバリューは135.9374となっております。また、設定来のユニットバリュー騰落率は+35.94%となりました。

※投資信託の組入れ比率は、投資信託の買付・解約により発生する未払金・未収金を調整した実質的な投資信託の比率であり、特別勘定資産合計に対する構成比率とは異なります。

■ユニットバリューの推移と運用利回り



設定日：2007年12月10日

	ユニットバリュー	運用利回り
2016年3月末	125.5065	
2016年4月末	125.8610	+0.28%
2016年5月末	128.6912	+2.54%
2016年6月末	124.9544	-0.44%
2016年7月末	127.4710	+1.57%
2016年8月末	127.6730	+1.73%
2016年9月末	127.9962	+1.98%
2016年10月末	130.7951	+4.21%
2016年11月末	134.3457	+7.04%
2016年12月末	137.1762	+9.30%
2017年1月末	135.6858	+8.11%
2017年2月末	136.9482	+9.12%
2017年3月末	135.9374	+8.31%

(注) 運用利回りはユニットバリューの2016年3月末からの伸び率を記載しております。

(単位：千円)

■保有有価証券の明細

銘柄名	種別	時価額
プルデンシャル私募国内株式・債券バランスファンド（適格機関投資家向け）	投資信託	22,930

